

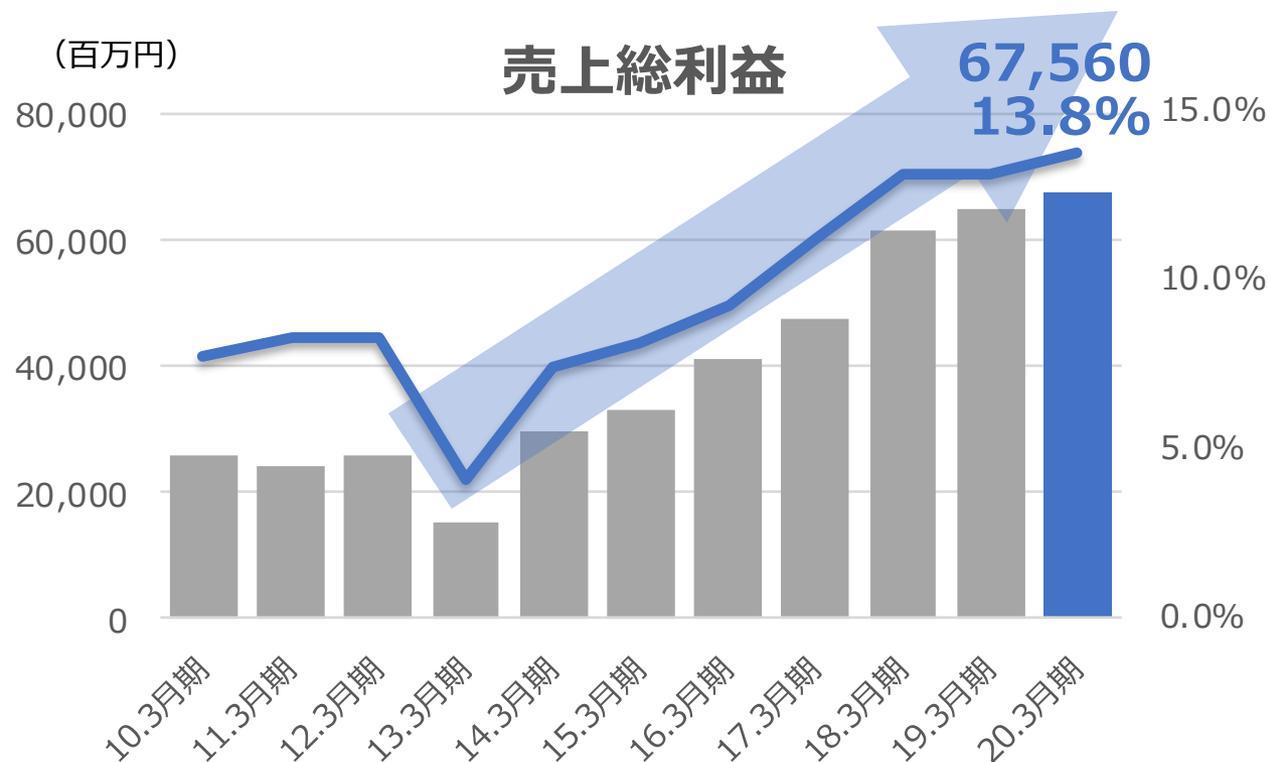
# 2020年3月期 決算説明会

2020年 5月25日

代表取締役社長 前田 操治

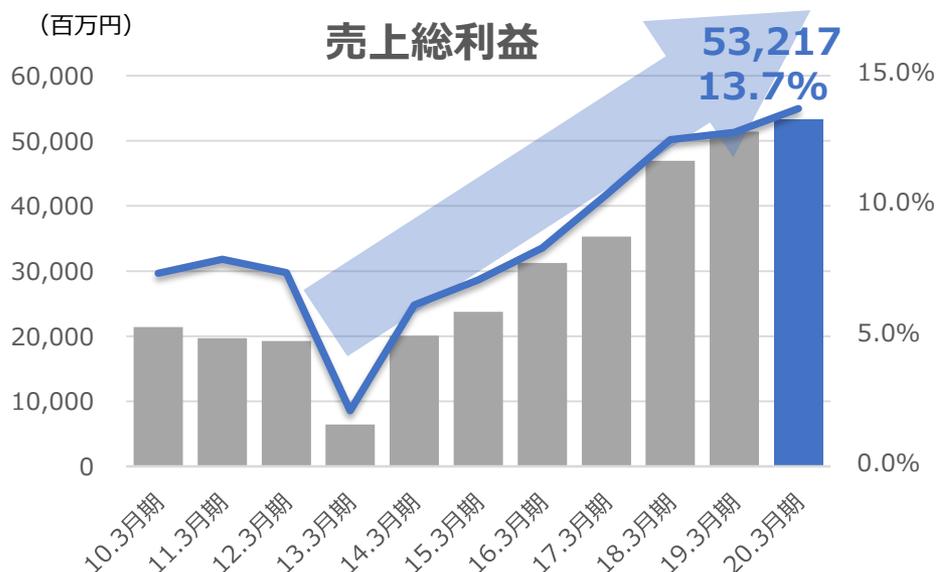


売上総利益は**7期連続で増益**  
**3期連続で最高益を更新**

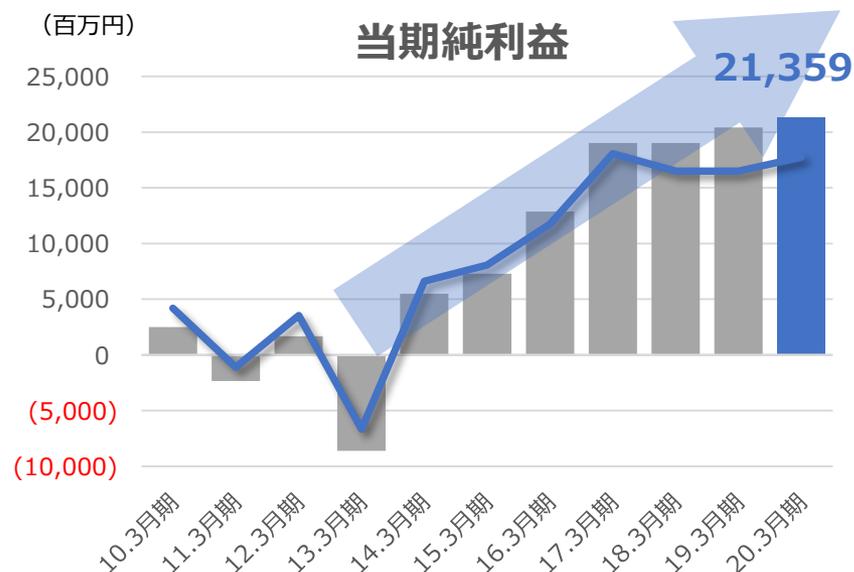


# 2020年3月期 業績ハイライト (個別)

売上総利益は **7期連続**で増益  
**2期連続**で最高益を更新



当期純利益は **7期連続**で増益  
**5期連続**で最高益を更新



# 前田道路に対するTOBについて

## 結果

2020年1月21日より開始した公開買付けは、3月12日をもって終了し、3月19日付で前田道路株式会社の普通株式を取得することで当社の連結子会社とした

## TOBの目的

当社として、①社会インフラの老朽化やデジタル化の加速などによる経営環境の急速な変化の中で、様々な社会インフラに関わるすべてのサービス領域に事業領域を拡大し、『総合インフラサービス企業グループ』への昇華を実現すること、②コンプライアンス及びコーポレート・ガバナンス体制の強化によりグループとしての経営体制、事業運営の改革を実現することにより、前田道路株式会社のみならず当社グループ全体の企業価値向上につながると考えた

## 今後の見通し

『総合インフラサービス企業グループ』の実現に向けて、市場拡大が見込まれる官民連携事業（包括管理委託やPPP・コンセッション分野）での協業を目指すとともに、インフラ運営の更なる業務効率化を図るべく、デジタル化への積極的な投資を行う

ICI総合センターや愛知県有料道路コンセッションなど、既存の施設やプロジェクトにおけるデジタル化の早期実装の他、人材交流・技術開発・遊休資産の統廃合・グループ内連携など、前田グループ全体の企業価値向上に繋がる施策を検討する

# 前田道路TOBが連結業績へ与える影響

## ①P/Lへの影響

	19.3期	20.3期※ 1	21.3期 見込※ 2
営業利益	359	340	324 ↓
当期純利益	240	143	100 ↓

※ 1 段階取得損失 76億円（特別損失） ※ 2 のれん償却 97億円（一般管理費）

## ②B/Sへの影響

	19.3期	20.3期
総資産	7,176	9,208 ↑

## ③EBITDAへの影響

	19.3期	20.3期	21.3期 見込
EBITDA	427	488	658 ↑

# 新型コロナウイルスによる影響について

## (1) 業績への影響について

- 2020年3月期の個別業績への影響はなかった
- 2021年3月期の1Q個別業績に関しては4～5月の施工中断・閉所の影響が多少発生する可能性はあるが、通期に関しては当初目標の数値達成を目指している
- インフラ運営事業においては、今回のような緊急時での過大な影響を抑制する条件を契約段階で設定しているため、業績への影響は軽微である
- 一部の主要連結子会社には影響が見込まれるものの、前田建設の個別業績への影響は現段階では小さく、連結業績全体への影響は軽微に留まっている

## (2) 工事受注への影響について

- 土木・建築事業共に各官公庁の発注は1カ月程度スライドする可能性があるという情報を得ているが、今年度発注予定案件は今年度中に施行される予定（東京都は予算計上した案件全ては実施できない見通しとなり、優先度で今後案件を選別する予定）
- 建築事業における民間工事は一部の用途（宿泊施設など）で影響を受けると推測できるが、大型再開発物件を中心に受注の目途が立っているため、業績への影響は軽微である

## (3) 資材・調達への影響について

- 土木・建築事業共に現在のところ大きな影響はなく比較的落ち着いている
- 人手不足、資機材の調達状況に大きな問題はない
- 資材費、労務費の価格は当面影響が出るとは考えにくい

# 2020年3月期決算概要および業績予測

---

Summary of Corporate Achievements and Forecast

# 業績の推移と見込み（連結）

(単位：億円)

	19.3期 実績	20.3期 実績	前年 同期比	21.3期 見込
売上高	4,921	<b>4,879</b>	-42	6,620
売上総利益	652 13.2%	<b>676</b> 13.8%	+24 +0.6%	834 12.6%
一般管理費	292 5.9%	<b>335</b> 6.9%	+43 +1.0%	510 7.7%
営業利益	359 7.3%	<b>340</b> 7.0%	-19 -0.3%	324 4.9%
経常利益	384 7.8%	<b>366</b> 7.5%	-18 -0.3%	298 4.5%
親会社株主に帰 属する当期純利益	240 4.9%	<b>143</b> 2.9%	-97 -2.0%	100 1.5%

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

# 連結セグメント別売上高・売上総利益の内訳

(単位：億円)

	19.3期 実績		20.3期 実績		21.3期 見込	
<b>売上高</b>	4,921	100%	<b>4,879</b>	100%	6,620	100%
建築	2,872	58.4%	<b>2,651</b>	54.3%	2,482	37.4%
土木	1,491	30.3%	<b>1,548</b>	31.7%	1,520	23.0%
舗装	—	—	—	—	2,080	31.4%
製造	365	7.4%	<b>381</b>	7.8%	356	5.4%
インフラ運営	178	3.6%	<b>187</b>	3.8%	167	2.5%
その他	16	0.3%	<b>112</b>	2.3%	15	0.2%

	19.3期 実績		20.3期 実績		21.3期 見込	
<b>売上総利益</b>	652	13.2%	<b>676</b>	13.8%	834	12.6%
建築	287	10.0%	<b>251</b>	9.5%	244	9.8%
土木	245	16.4%	<b>294</b>	19.0%	214	14.1%
舗装	—	—	—	—	268	12.9%
製造	68	18.6%	<b>69</b>	18.1%	60	16.9%
インフラ運営	44	24.5%	<b>52</b>	28.0%	40	24.0%
その他	8	53.4%	<b>9</b>	7.9%	8	53.3%

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

# 主なグループ会社の業績推移と見込

(単位：百万円)

連結子会社	(株)前田道路			(株)前田製作所			(株)エフビーエス		
	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込
売上高	211,347	<b>219,663</b>	210,000	34,392	<b>34,847</b>	30,550	20,844	<b>21,572</b>	22,100
営業利益	17,102	<b>17,044</b>	16,800	1,513	<b>1,606</b>	700	1,267	<b>1,011</b>	759
経常利益	16,698	<b>17,155</b>	17,000	1,617	<b>1,715</b>	780	1,283	<b>1,043</b>	790
当期純利益	11,066	<b>17,532</b>	11,000	866	<b>1,168</b>	520	822	<b>654</b>	500
連結子会社	フジミ工研(株)			(株)JM			愛知道路コンセッション(株)		
	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込
売上高	8,567	<b>7,181</b>	8,350	30,131	<b>31,216</b>	26,000	16,329	<b>16,232</b>	14,248
営業利益	543	<b>421</b>	360	488	<b>304</b>	120	3,289	<b>3,663</b>	2,422
経常利益	557	<b>439</b>	380	500	<b>308</b>	131	1,678	<b>2,155</b>	986
当期純利益	450	<b>389</b>	320	324	<b>185</b>	91	1,529	<b>1,987</b>	887
持分法 適用会社	東洋建設(株)			光が丘興産(株)					
	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込	19.3期実績	20.3期実績	21.3期見込			
売上高	148,759	<b>156,689</b>	157,000	55,606	<b>48,854</b>	44,000			
営業利益	7,039	<b>8,259</b>	6,800	805	<b>815</b>	300			
経常利益	7,146	<b>8,477</b>	6,600	1,196	<b>1,307</b>	775			
当期純利益	4,879	<b>5,664</b>	4,500	735	<b>898</b>	550			

# 業績の推移と見込み（個別）

（単位：億円）

	19.3期 実績	20.3期 実績	前年 同期比	21.3期 見込
売上高	4,013	<b>3,873</b>	-140	3,649
売上総利益	514 12.8%	<b>532</b> 13.7%	+18 +0.9%	443 12.1%
一般管理費	216 5.4%	<b>246</b> 6.4%	+30 +1.0%	230 6.3%
営業利益	298 7.4%	<b>286</b> 7.4%	-12 0%	213 5.8%
経常利益	322 8.0%	<b>298</b> 7.7%	-24 -0.3%	362 9.9%
当期純利益	204 5.1%	<b>214</b> 5.5%	+10 +0.4%	290 7.9%

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

# セグメント別 完工高・完工利益の内訳（個別）

（単位：億円）

	19.3期 実績		20.3期 実績		21.3期 見込	
<b>完工高</b>	4,013	100%	<b>3,873</b>	100%	3,649	100%
建築	2,452	61.1%	<b>2,206</b>	57.0%	2,120	58.1%
国内	2422	60.3%	<b>2,166</b>	55.9%	2,105	57.7%
海外	30	0.8%	<b>40</b>	1.0%	15	0.4%
土木	1,535	38.2%	<b>1,538</b>	39.7%	1,500	41.1%
国内	1,511	37.7%	<b>1,509</b>	39.0%	1,491	40.9%
海外	24	0.6%	<b>30</b>	0.8%	10	0.2%
仕万運営	10	0.2%	<b>16</b>	0.4%	14	0.4%
不動産	16	0.4%	<b>112</b>	2.9%	15	0.4%

	19.3期 実績		20.3期 実績		21.3期 見込	
<b>売上総利益</b>	514	12.8%	<b>532</b>	13.7%	443	12.1%
建築	253	10.3%	<b>217</b>	9.8%	212	10.0%
国内	250	10.3%	<b>216</b>	10.0%	211	10.0%
海外	3	11.1%	<b>1</b>	3.4%	1	6.7%
土木	243	15.8%	<b>290</b>	18.9%	210	14.0%
国内	225	14.9%	<b>261</b>	17.3%	210	14.1%
海外	18	75.0%	<b>29</b>	97.8%	0	3.2%
仕万運営	10	99.8%	<b>16</b>	99.9%	13	95.6%
不動産	8	52.9%	<b>9</b>	7.8%	8	53.3%

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

# 受注の状況・手持工事高（個別）

(単位：億円)

## 受注の状況

	19.3期 実績	20.3期 実績	21.3期 見込
建築	2,472	<b>2,392</b>	2,500
土木	1,784	<b>1,564</b>	1,550
亿万運営	10	<b>16</b>	—
不動産	14	<b>114</b>	—
合計	4,281	<b>4,085</b>	4,050

		19.3期 実績	20.3期 実績	増減
建築	国内官庁	355	<b>292</b>	-63
	国内民間	2,056	<b>2,088</b>	+32
	海外	61	<b>12</b>	-49
土木	国内官庁	957	<b>637</b>	-320
	国内民間	820	<b>904</b>	+84
	海外	8	<b>22</b>	+14

## 手持工事高

	19.3期 実績	20.3期 実績	21.3期 見込
建築	3,031	<b>3,216</b>	3,596
土木	2,920	<b>2,945</b>	2,995
亿万運営	—	<b>—</b>	—
不動産	1	<b>—</b>	—
合計	5,952	<b>6,162</b>	6,592

		19.3期 実績	20.3期 実績	増減
建築	国内官庁	459	<b>458</b>	-1
	国内民間	2,539	<b>2,754</b>	+215
	海外	33	<b>5</b>	-28
土木	国内官庁	1,693	<b>1,318</b>	-375
	国内民間	1,204	<b>1,611</b>	+407
	海外	23	<b>15</b>	-7

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

# 事業別ハイライト

---

Latest Highlights by Segments

建築事業

土木事業

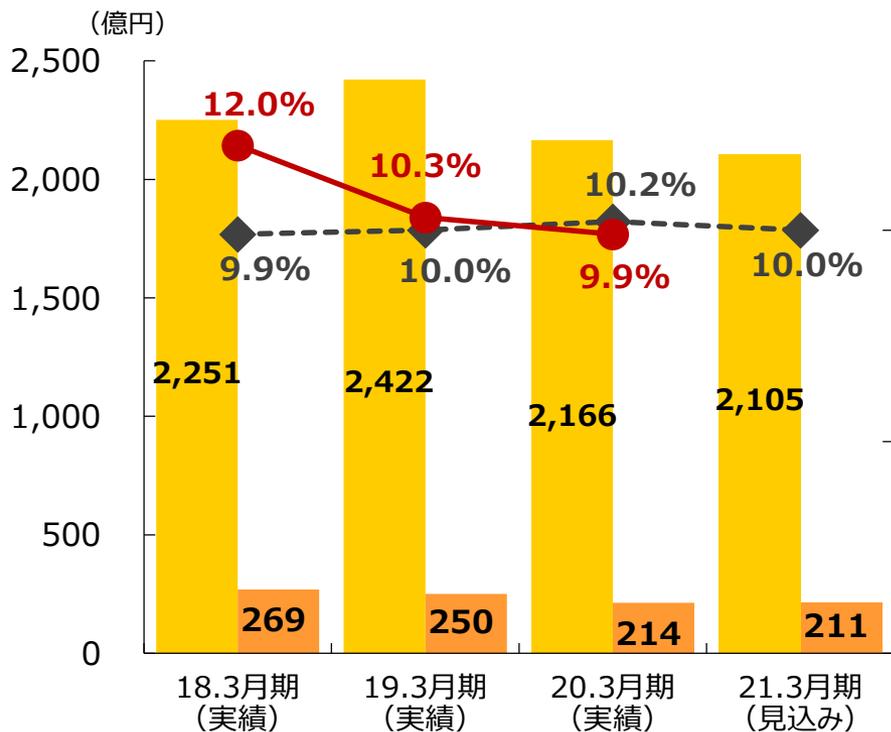
インフラ運営  
(脱請負)

# 建築事業（個別）完工高と完工利益の推移

- 20.3月期 工期厳守費用が高んだ大型工事の完工により利益率が横ばい
- 21.3月期 上流での利益の作り込みと出来高管理による完工高の確保

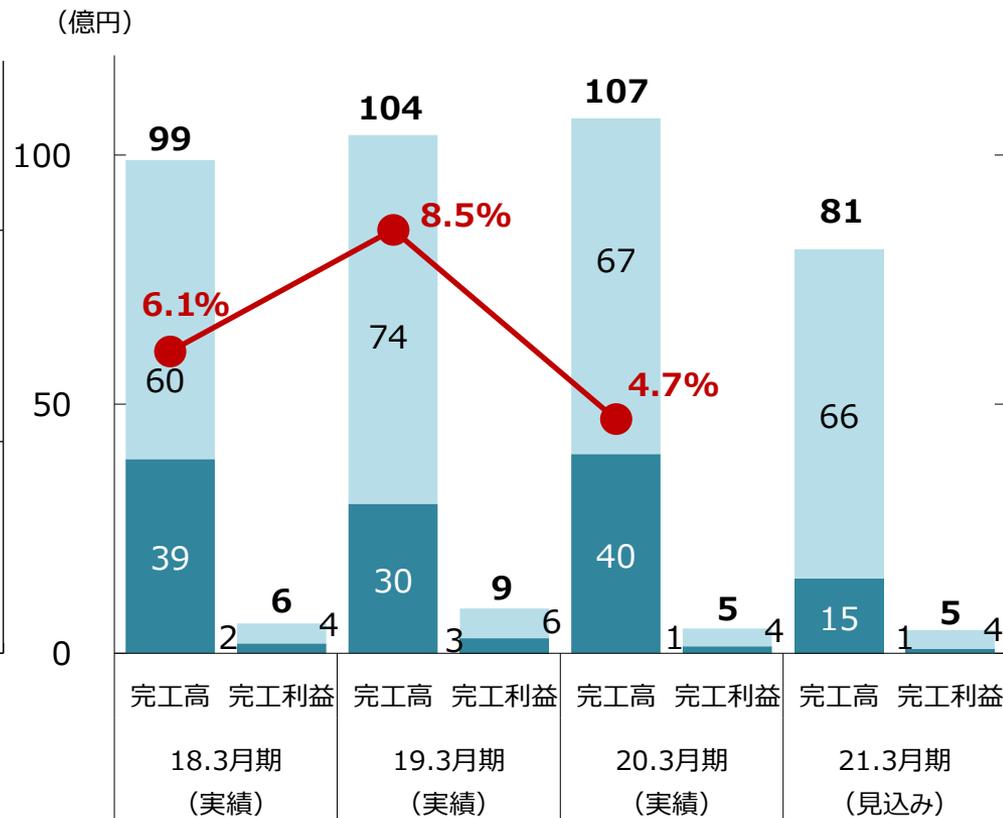
## 国内

■ 完工高      ■ 完工利益  
-◆- 完工利益率\_期首見込み    ● 完工利益率\_実績



## 海外

■ 主要現地法人    ■ 直轄    ● 完工利益率\_実績



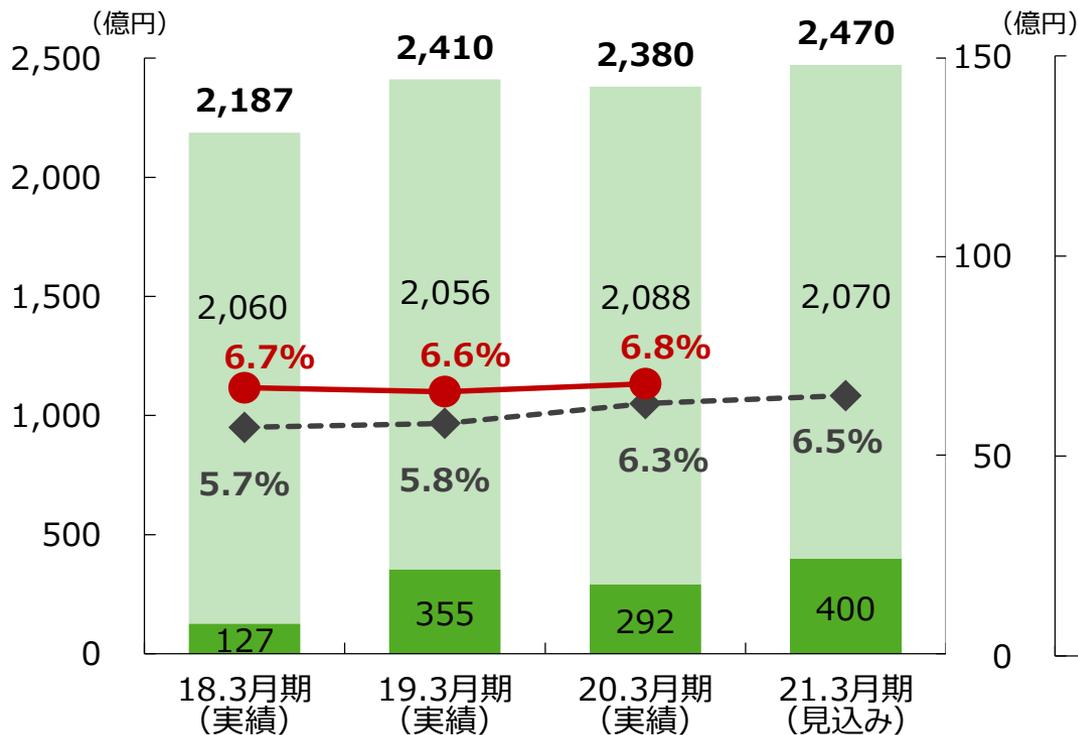
# 建築事業（個別）受注高と受注時利益率の推移

■ 20.3月期 上流での作り込みにより受注時利益率は目標を達成

■ 21.3月期 大型再開発案件を柱とした受注高の確保

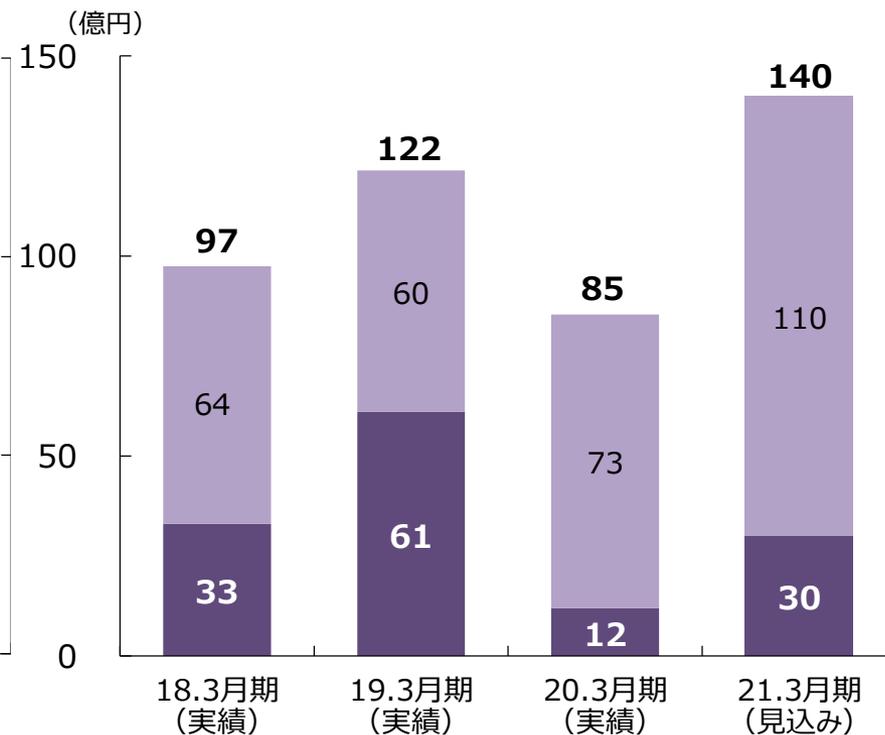
## 国内

■ 受注高（官庁） ■ 受注高（民間）  
 -◆- 受注時利益率\_期首見込み ● 受注時利益率\_実績



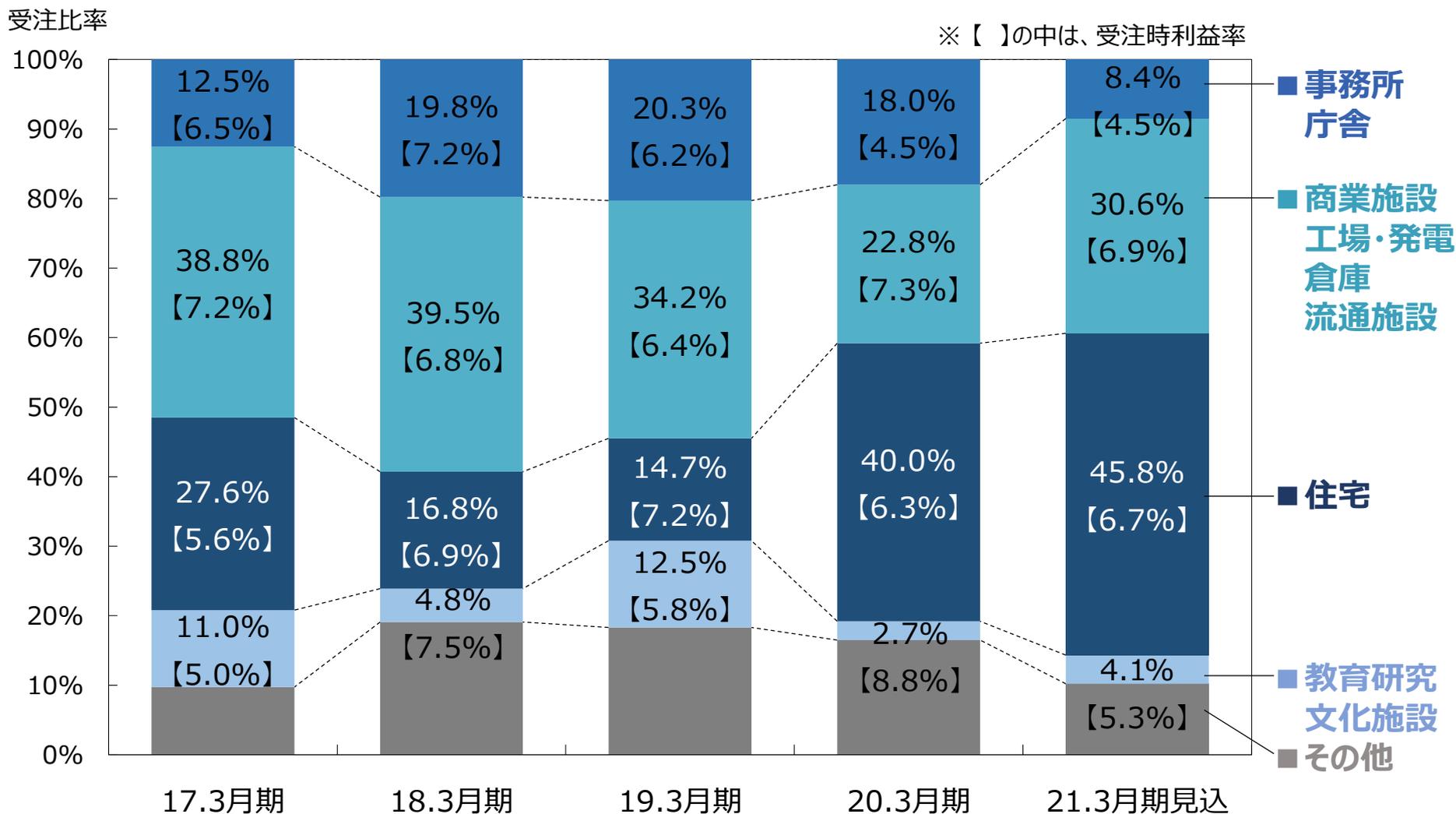
## 海外

■ 受注高（直轄） ■ 受注高（主要現地法人）



# 建築事業（個別）建物用途別 国内受注比率の推移

■ 20.3月期・21.3月期 大型再開発案件の着工が増え「住宅」比率が高まる



# 事業別ハイライト

---

Latest Highlights by Segments

建築事業

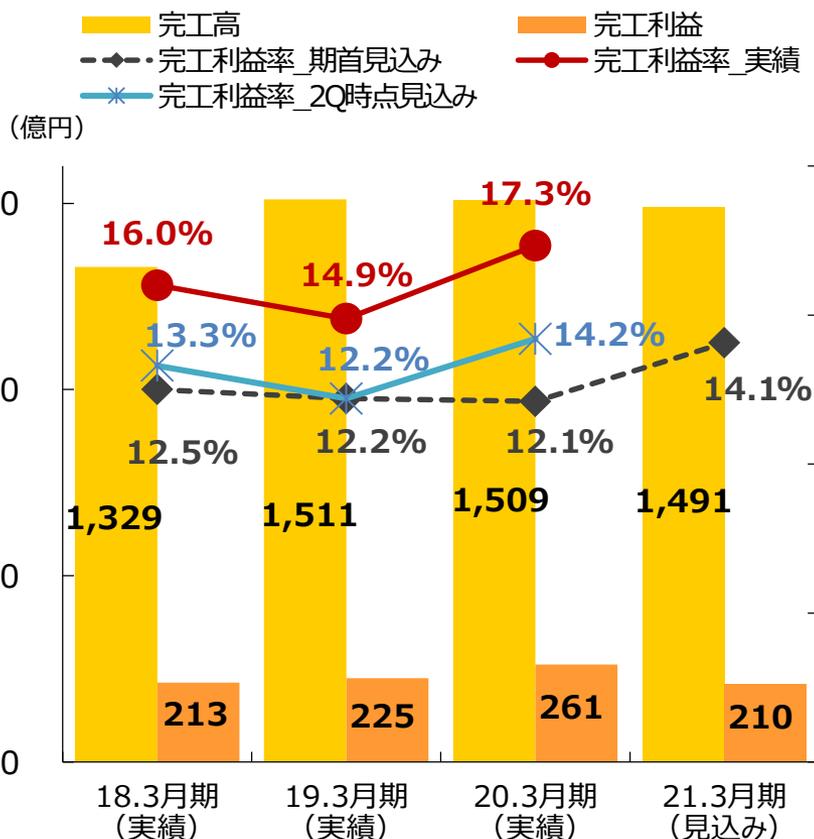
土木事業

インフラ運営  
(脱請負)

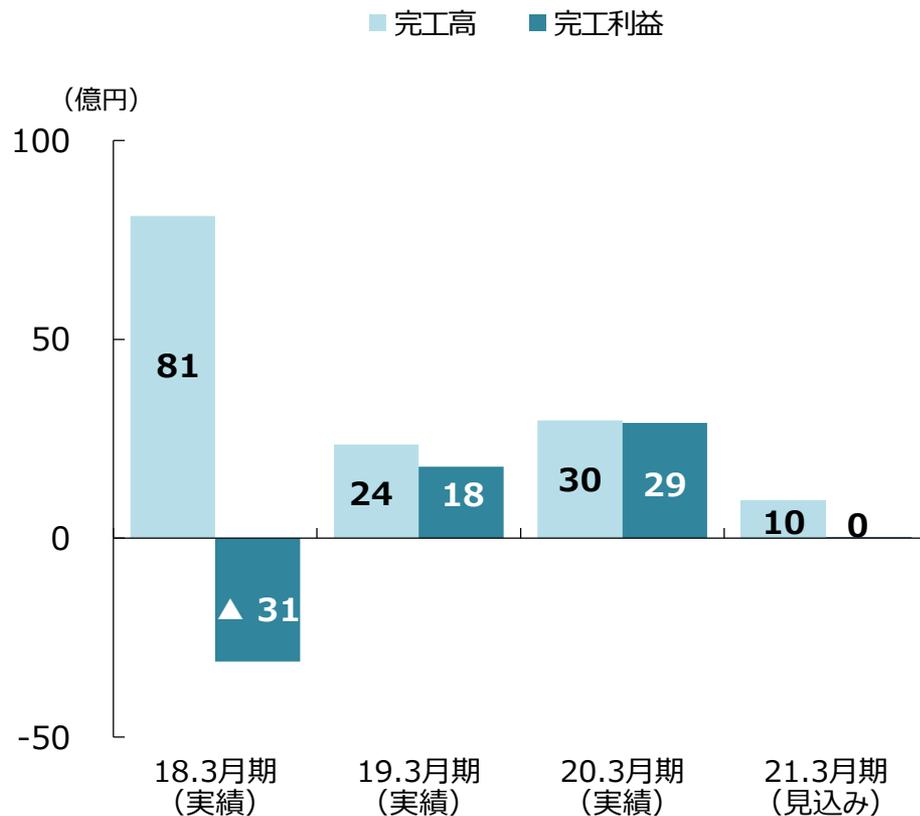
# 土木事業（個別）完工高と完工利益の推移

- 20.3月期 国内：高収益の設計変更獲得及び出来高進捗増により完工高、利益共に公表値を上回る  
海外：前年度同様に係争解決等により収益が大きく改善。手持工事は減少
- 21.3月期 国内：重点管理による出来高計上、設計変更獲得、利益率向上に注力  
海外：未完係争案件の解決及び手持工事の設計変更獲得等により収益改善を図る

## 国内



## 海外

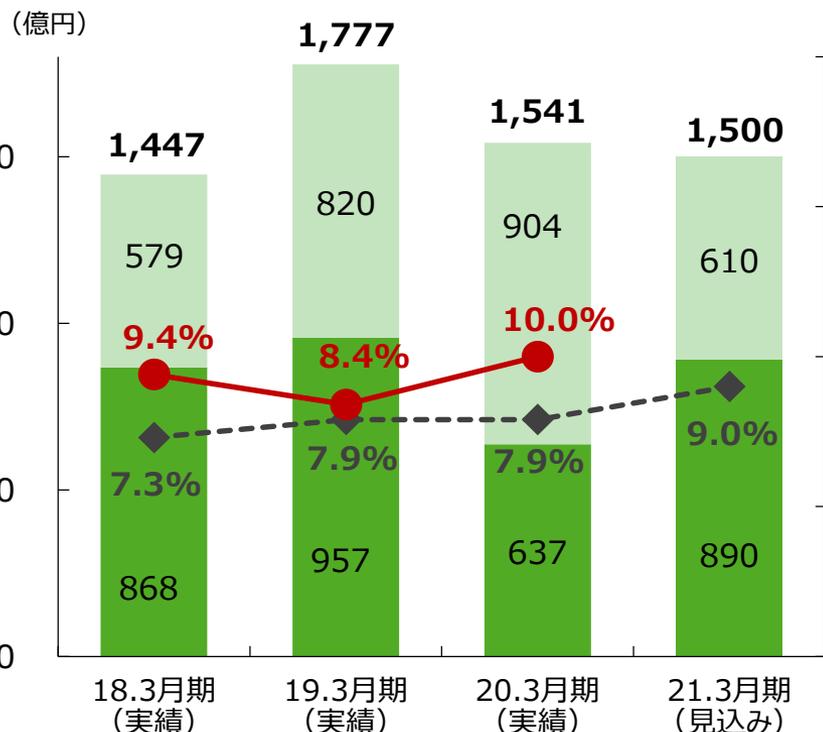


# 土木事業（個別）受注高と受注時利益率の推移

- 20.3月期** 国内：民間の大型工事受注が寄与。新規官庁工事並びに高採算の設計変更受注により、受注時利益率は初の2桁台を確保し、目標値を大きく上回る  
 海外：営業エリア内の案件数の減少及び価格競争の激化から、応札機会が減少。新規受注には至らず
- 21.3月期** 国内：前期同様に施工体制、特に採算性を考慮した計画的な応札を実施。官庁に注力  
 海外：将来の市場変化を踏まえ、ベトナムを中心とした東南アジアでの計画的応札を実施  
 新規受注に向けて、地元企業の発掘・育成・連携に注力

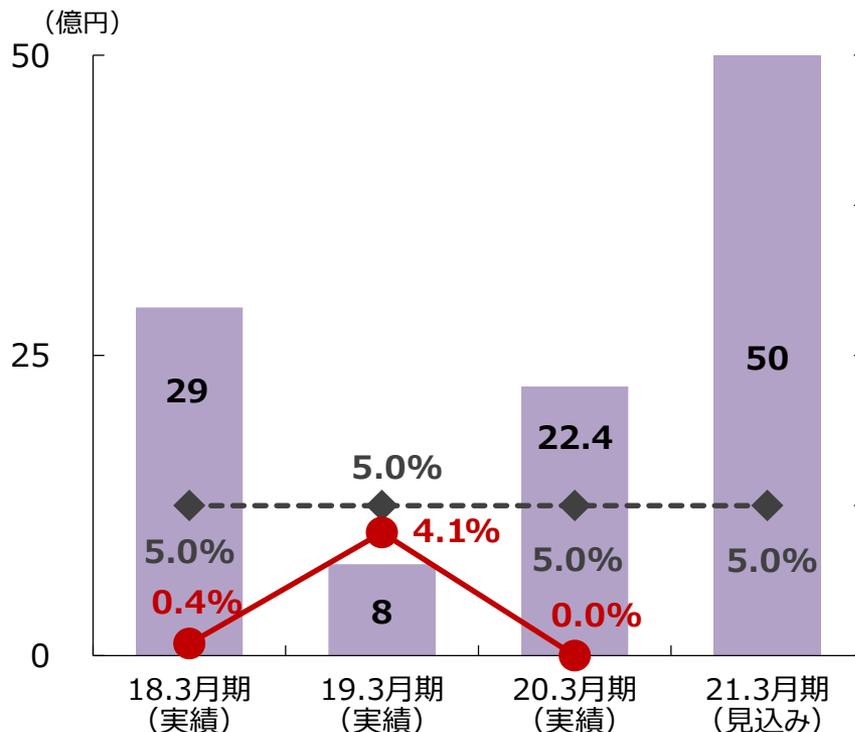
## 国内

■ 受注高 (官庁)      ■ 受注高 (民間)  
-◆- 受注時利益率\_期首見込み      ● 受注時利益率\_実績



## 海外

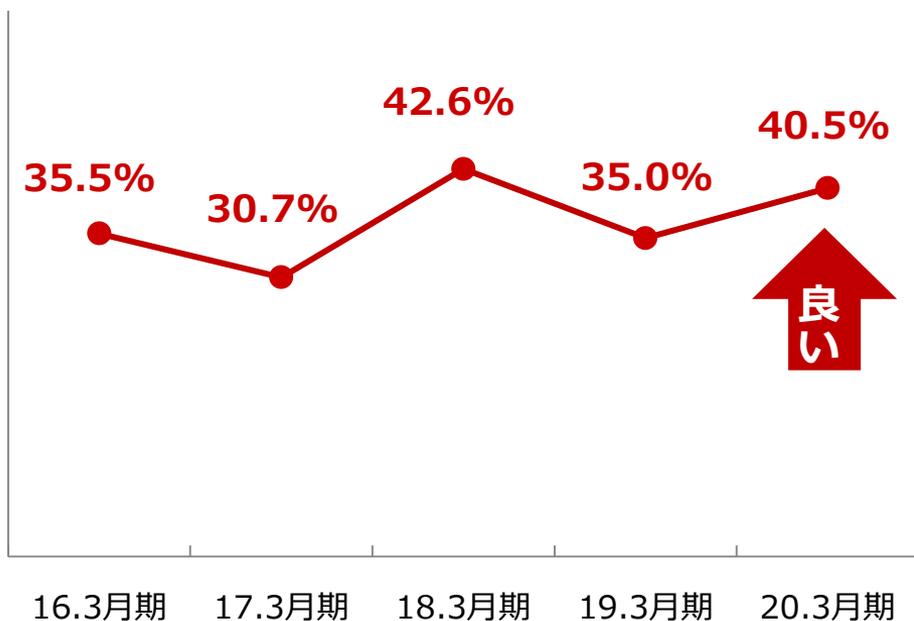
■ 受注高 (官庁)      ■ 受注高 (民間)  
-◆- 受注時利益率\_期首見込み      ● 受注時利益率\_実績



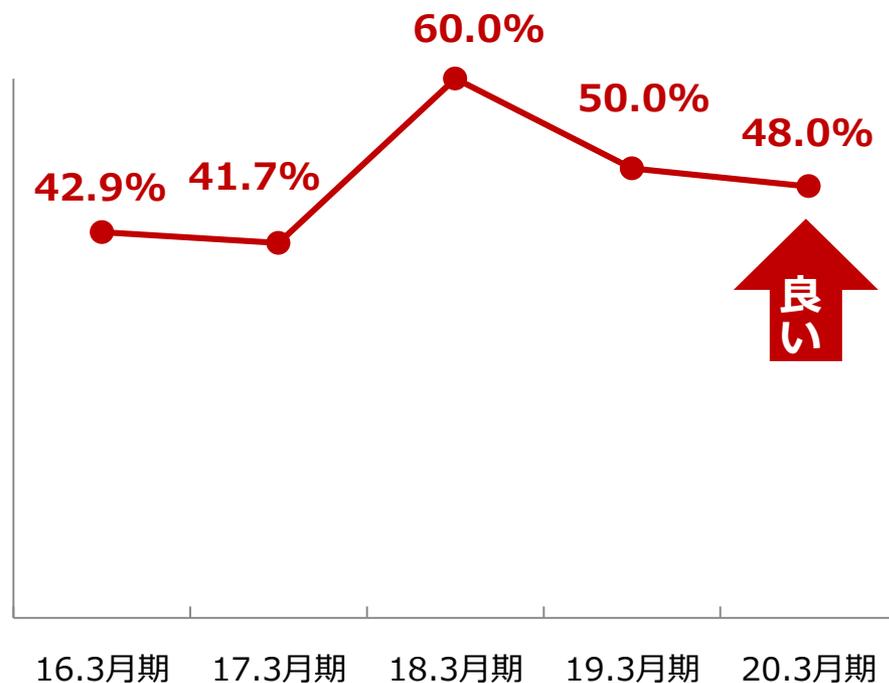
# 国内土木事業 総合評価案件への取組状況

- 段階選抜方式の増加により技術評価点1位獲得者数は減少傾向にあるものの、技術評価点1位獲得率・同受注率は高水準を維持しており、受注圏内のポジションを保っている。

## 技術評価点1位獲得率



## 技術評価点1位受注率



# 事業別ハイライト

---

Latest Highlights by Segments

建築事業

土木事業

インフラ運営  
(脱請負)

# 業績への貢献

連結利益への貢献	2017.3期 (実績)	2018.3期 (実績)	2019.3期 (実績)	2020.3期 (実績)	2021.3期 (見込み)
	22億円	46億円	62億円	53億円	66億円

内 訳	連結子会社の営業利益 (愛知道路C、五葉山太陽光等)	19億円	39億円	38億円	48億円	39億円
	単体業績貢献 (O&M,EPC,開発等業務委託利益等)	2億円	7億円	13億円	5億円	14億円
	その他収益 ※	1億円	0億円	11億円	0億円	13億円

※ その他収益には売却益、非連結SPC株式配当等を含む

# 再生可能エネルギープロジェクト

事業区分	場所	規模(AC)	FIT価格	総事業費	内容
太陽光	茨城県 つば	2 MW	40円	約6億円	2013/3 完成
	岩手県 大船渡	18 MW	40円	約64億円	2015/8 完成
	● 茨城県 北茨城	6.5 MW	36円	約21億円	2016/3 売却
	山口県 美祢	7 MW	40円	約28億円	2017/8 完成
	● 山梨県 甲斐	18 MW	36円	約70億円	2020/5 完成・売却
陸上風力	青森県 六ヶ所	20 MW	22円	約113億円	2016/6 売却
	秋田県 八峰	20 MW	22円	約72億円	2019/1 完成
バイオマス	愛媛県 大洲	50 MW	24円	約330億円	2024/3 完成予定
計		<b>141.5MW</b>		<b>約700億円</b>	
● 前田・マッコリー					
洋上風力	山口県 下関安岡	60 MW	-	約350億円	事業開発中
小水力	福島県 檜葉	(検討中)	-	(検討中)	事業開発中
計		<b>200.5MW</b>		<b>約1,050億円</b>	

# 八峰風力発電事業



**実績値は予測比101%であり、順調に稼働中**

発電実績（2019年4月～2020年3月）

初年度	実績	予測
発電量	<b>58,067 MWh</b>	57,499 MWh
収入	<b>1,277,483 千円</b>	1,264,975 千円

発電所概要

所在地	秋田県山本郡八峰町
発電規模	19,950 kW（3,200 kW×7基）
売電価格	22 円 / kWh（税抜）
施工者	前田建設工業株式会社 東北支店
工事期間	2017年6月～2019年1月
売電開始	2019年2月1日



# 愛知県有料道路コンセッション

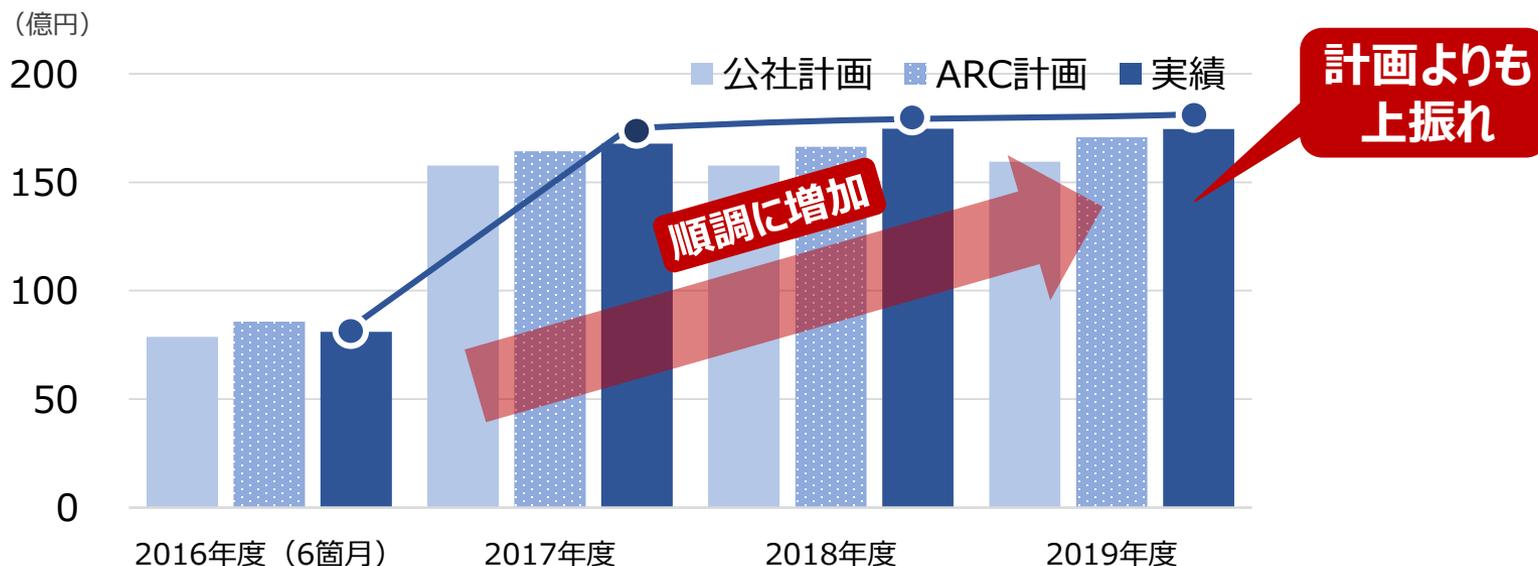
## 業績

料金収入は堅調に推移し過去最高益を更新

	売上高	営業利益
2017.3期(半期)	75.1億円	18.2億円
2018.3期	156.6億円	36.3億円
2019.3期	163.3億円	32.9億円
2020.3期	162.3億円	36.6億円
	累計	124億円



## 16年度～19年度の料金収入（実績・計画）推移



# 仙台空港コンセプション

2019年7月1日 運営開始3周年

## 旅客数 推移



新規就航、増便などにより旅客数は順調に増加。  
2月以降、新型コロナウイルスによる影響下にあるが、2019年度の旅客数は**過去最高を更新**した。

## スケジュール

2016年 2月 7月	ビル事業運営事業開始 空港運営事業開始
2017年 7月	1階リニューアルオープン 施工:前田建設 東北支店
2018年10月	ピア棟オープン 施工:前田建設 東北支店
2020年 4月	出発エリアリニューアル工事 受注 受託者:前田建設 東北支店

## 旅客数および貨物量 目標

	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2019年度 実績値	2019年度 目標値	2020年度 目標値	2044年度 目標値
旅客数	343万人	361万人	前年比 +2.9% 371万人	376万人	410万人	550万人
国内	315万人	330万人	前年比 +1.1% 334万人	337万人	362万人	435万人
国際	28万人	31万人	前年比 +21.7% 37万人	39万人	48万人	115万人
貨物量	0.72万t	0.70万t	前年比 -3.6% 0.68万t	0.7万t	1.0万t	2.5万t

# 仙台空港コンセプション

## 2021年度 竣工予定 リニューアルイメージ



**2021年度下期  
グランドオープン!**



- 2020年3月に旅客ターミナルビル内の保安検査エリアと商業エリアの大規模改修工事に着工（前田建設受注）
- 完工は2021年度内を予定。
- 改修後は保安検査レーンの増設や商業エリアの大規模な増築により、旅客の利便性・快適性が大きく向上する。

## 2019年度 新規就航・増便等

路線	航空会社	運航頻度
札幌	JAL	毎日5往復 → 毎日6往復
	Peach	毎日2往復 → 毎日3往復
成田	IBEX	毎日1往復
台北	Peach	週4往復 → 週7往復
	エバー航空	週4往復 → 週7往復
上海	中国国際航空	週2便 → 週3便
北京～大連	中国国際航空	週2便
バンコク	タイ国際航空	週3便

# 愛知県国際展示場コンセッション

愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）は国内4番目の展示面積をもつ展示場

展示場名	展示面積
東京ビッグサイト	95,000 m <sup>2</sup>
幕張メッセ	72,000 m <sup>2</sup>
インテックス大阪	70,000 m <sup>2</sup>
<b>Aichi Sky Expo</b>	<b>60,000 m<sup>2</sup></b>



代表企業：GL events SA

構成企業：前田建設工業

協力企業：KSAインターナショナル



## 開業からの実績（2019年8月30日～2020年3月31日）

イベント数	84件
来場者数	約54万人
稼働率	24%（コロナの影響考慮済。当初計画約21%）



## 2019年度収支状況

2019年8月30日(開業)～2020年3月31日までの収支状況（赤字補填対象範囲）

営業利益：+約5,750万円（税抜）の達成。結果、2019年度赤字補填は未執行

## 2019年度愛知県によるサポート（対コロナ禍）

### 内容

2019年度末(2-3月)におけるコロナによるイベントキャンセル10件、**総額約4,900万円の全額補助**  
2020年度（4月末時点）キャンセル件数25件に関する対応については現在愛知県と協議中

# NEXT10に向けた業績貢献の目標値

連結利益への貢献	2021.3期 (見込み)	2022.3期 (見込み)	2028.3期 <b>NEXT10</b>
		66億円	100億円

内 訳	連結子会社の営業利益 (愛知道路C、五葉山太陽光等)	39億円	41億円	—
	単体業績貢献 (O&M,EPC,開発等業務委託利益等)	14億円	9億円	—
	その他収益 ※	13億円	50億円	—

※ その他収益には売却益、非連結SPC株式配当等を含む

# MAEDAの新しいパートナーシップに基づいた脱請負の展開イメージ



# トピックス

---

Topics

# 多様な用途における大型工事の受注に向けた取組みに注力

## (仮称)亀戸六丁目共同住宅新築工事 (仮称)亀戸六丁目計画(商業棟)新築工事



『生活利便施設の不足』などの地域課題を解決し、多様なコミュニティ形成や地域の未来を見据えた価値創出を目指す“地域共生”をテーマにした街づくりを目指す

発注者：野村不動産株式会社

項目	住宅棟	商業棟
構造・規模	S造：地下1階、地上25階	RC造、地下1階、地上6階
延床面積	96,895㎡	58,079㎡
工期	2019年7月～2022年3月	2019年10月～2022年3月

## JR富山駅ビル開発 新築工事



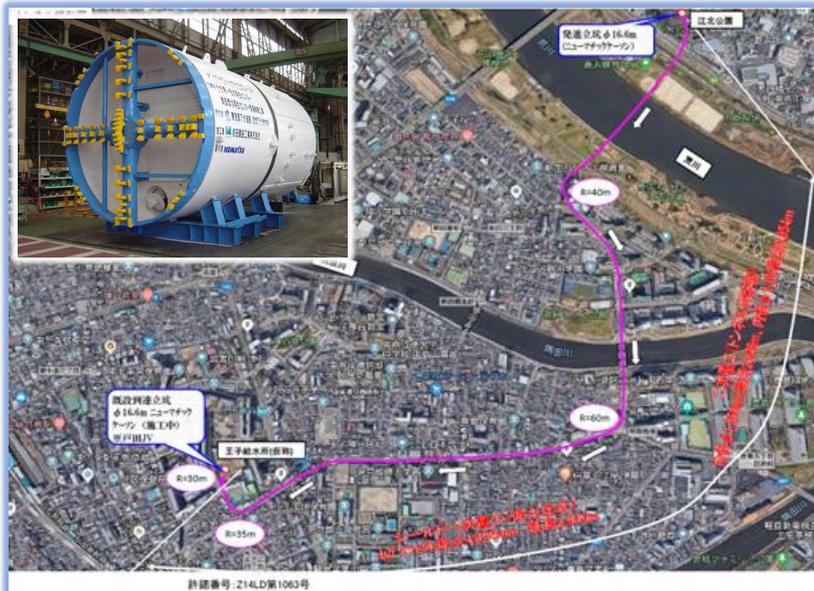
『市民と来街者と旅人が集い交わる、活力あふれる駅前空間』を開発コンセプトに、商業施設、ホテル、駐車場など併設の複合施設を計画し、地域のより一層の活性化に寄与できる施設を目指す

発注者：JR西日本不動産開発株式会社

項目	商業施設、ホテル、駐車場
構造・規模	S造、地上12階
延床面積	38,006㎡
工期	2020年2月～2022年1月

# 東京北部の水道増強事業に貢献

## 足立区鹿浜一丁目地内から北区王子五丁目地内送水管新設工事(シールド工事)



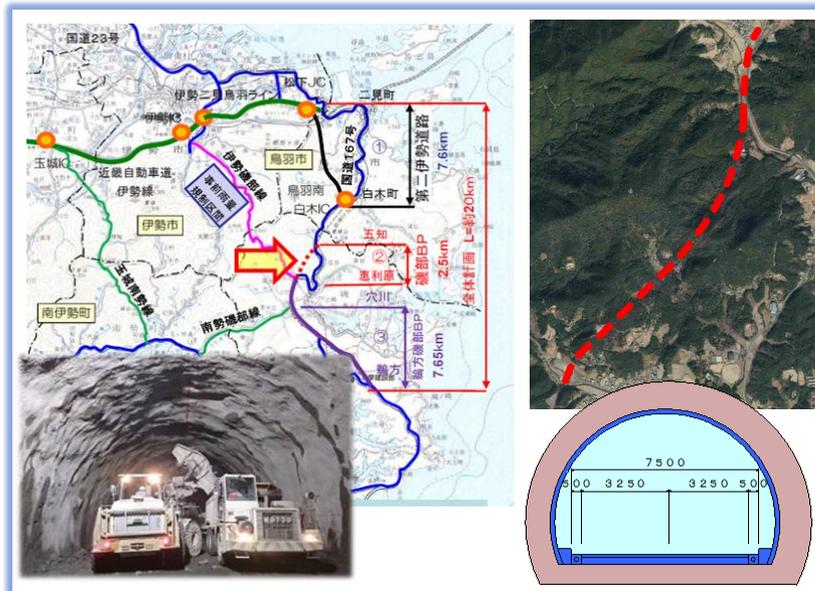
東京都北部の送水増強を目的とする注目すべき事業。大口径、急曲線、河川横断を伴う大型シールド工事。

発注者：東京都水道局

項目	内容
施工場所	東京都足立区～北区
工事概要	シールドトンネル 延長 L=2.9km 内径4000mm
工期	2019年11月～2024年3月

# 幹線道路機能を強化

## 一般国道167号(磯部BP)道路改良(恵利原五知トンネル(仮称))工事



伊勢志摩地域の観光リゾート拠点との連絡を強化する道路整備。大きく湾曲し線形が悪い箇所や狭隘部がある現国道167号線の幹線道路強化を目的とした三重県期待の事業。

発注者：三重県

項目	内容
施工場所	三重県志摩市
工事概要	工事延長L=2000m トンネル延長L=1,823m 内空断面積 57.8㎡ 舗装工 A=12,461㎡
工期	2019年10月～2024年3月

# 補足資料

---

Appendix

# 将来目指す姿の体系

2019年 創業100周年を迎えた  
次の100年に向けた持続的な成長を実現するための「新たなMAEDAの企業像」を策定

## II 「総合インフラサービス企業」への転換

I.生産性改革

II.脱請負事業の全社的推進

III.体質改善

Change 1<sup>st</sup>  
'19-'21

Change 2<sup>nd</sup>  
'22-'24

Change 3<sup>rd</sup>  
'25-'27

NEXT  
10

総合インフラ  
サービス企業

「請負」と「脱請負」  
の融合

ターゲット  
(営業利益額)

請負 : 脱請負  
1 : 1

NEXT  
100

持続的な成長

安定かつ  
高収益体質

すべてのステークホルダー  
からの信頼

世界中の  
社会課題の解決

# NEXT10のイメージ像

再エネ・空港・道路・展示場・水道・下水道など

あらゆるプロジェクトへの対応

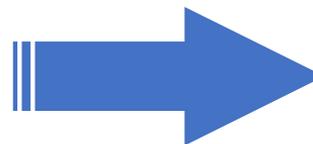


請負と脱請負の融合 ⇒ 安定収益基盤への変革

# 中期経営計画

Change 1<sup>st</sup>  
'19-'21

(単位：億円)



NEXT  
10

【連結】	2020.3期	2022.3期 <sup>※</sup>
売上高	4,750	5,200
営業利益	310	380
(営業利益率)	(6.5%)	(7.3%)

【個別】	2020.3期	2022.3期
売上高	3,710	4,050
営業利益	240	305
(営業利益率)	(6.5%)	(7.5%)

総合インフラ  
サービス企業

「請負」と「脱請負」  
の融合

ターゲット  
(営業利益額)

請負：脱請負  
1：1

※前田道路の業績は現在精査中のため見込んでおりません

**前田建設工業株式会社**

**総合企画部長 坂口 伸也**

**TEL : 03-5276-5131**

**e-mail : sakaguchi.s@jcity.maeda.co.jp**